

2027年国際園芸博覧会における広島県出展企画運営業務提案書作成要領

この要領は、2027年国際園芸博覧会（以下「園芸博」という。）における広島県出展企画運営業務を委託するに当たり、総合的な審査により受託者を選定することを目的とし、提案書を作成するために必要な事項を定めるものである。

1 企画提案時の提出物

- (1) 表紙【別記様式1】：正本1部、副本6部
- (2) 企画提案書【任意様式】：正本1部、副本6部
- (3) 見積書【別記様式2-1】：正本1部
- (4) 設計内訳金額【別記様式2-2】：正本1部、副本6部
- (5) (2)及び(4)のデジタルデータ（PDF形式で5MB以内）

2 作成要領

(1) 一般事項

- ア 用紙は、原則A4版両面使用、縦置き横書き（横綴じ）とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。
- イ ページ番号は、目次を除き通し番号とし、各ページの下部中央に印字すること。
- ウ 専門的な知識を持たない者でも理解できるように極力わかりやすい表現で記載すること。
- エ 審査の公正を期すため、提案書の副本には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付してはならない。会社名を記載する場合は「当社」と記述すること。

(2) 提案書について

仕様書、評価基準を踏まえ、次の各項目に沿って記載すること。

1-1 基本方針

- 県が示すコンセプト、テーマ等を踏まえ、本業務の実施にあたっての基本的考え方、ポイントを記載すること。
- 県が示す目的を達成するための戦略を記載すること。

1-2 成果指標

- 広島県出展区画の来場者数 10,000人以上
その他、目標項目や目標値及び測定方法を提案に基づき具体的な指標で記載すること。
- 上記目標値の設定根拠、達成するための戦略、実現可能性について記載すること。

２－１ 展示内容 ○ 発信内容、展示物、全体空間や区画内各ゾーンのデザイン（イメージパース）、会場のレイアウト等について具体的に提案すること。 ○ 過去の博覧会等における来場者の行動実態等を踏まえた上で、広島県出展区画への効率的・効果的に誘導するための手法（仕掛け）を提案すること。（メディア誘致を含む） ○ 区画内の設営・運営・撤去計画について、具体的に提案すること。 ○ ユニバーサルデザイン、多言語対応、SDGs を配慮した点について提案すること。
２－２ 花き生産振興につながる内容 ○ 展示により、どのように広島県の多様な花き品目への認知度を高め、花き生産振興及び花き生産者の意欲向上につなげていくのか提案すること。
２－３ 観光誘客につながる取組 ○ 広島県への来訪のきっかけとなる仕掛けを提案すること。 ○ 園芸博出展を契機としてどのように観光誘客につなげていくか具体的に記載すること。
２－４ 広報 ○ 園芸博来場者（予定者を含む）やメディア関係者等に対する広島県出展区画への誘導促進のため、効果的な情報発信について提案すること。
２－５ 独自提案事項【仕様書５（６）に対応】
３－１ 業務の実施体制 ○ 業務全体を管理する者及びその他の業務従事者について、業務ごとに責任者、副責任者を記載するとともに、指揮監督のあり方や役割分担等を記載すること。 ○ スタッフごとに、氏名・役職名・実施する業務内容を具体的に記載すること。 ○ 他の事業者等との連携を予定している場合は、その内容や効果を記載すること。
３－２ 配置者の経験や実績、資格等 ○ 予定しているスタッフを適任とする理由（経験・実績等）を記載すること。
３－３ 業務工程 ○ 本業務を行うに当たっての工程を具体的に記載したスケジュールを作成すること（作業の開始時期、終了時期、所要日数等）
３－４ 提案者の実績 ○ 提案者がこれまでに国や広島県、他の自治体、民間事業者から受注し実施した類似の業務の実績を示すこと。

3－5 提案者の強み

○ 提案者の強みを次のような例を参考に具体的に記載すること。

【例】

- ・ 本業務の推進に不可欠な人材選定およびノウハウを有し、豊富な人材を提供できる。
- ・ 豊富なノウハウをもち、代替案を素早く提案し、不測の事態にも限られた予算内で対応できる。
- ・ ●●や●●の業務を受託した実績をもち、●●のノウハウがあることから、本業務においても確実に履行できる。